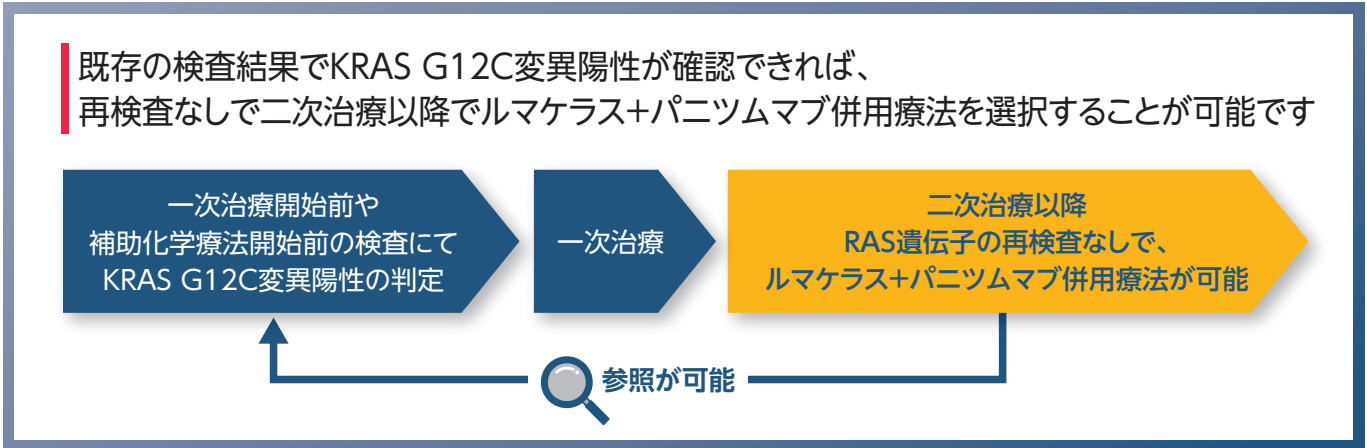


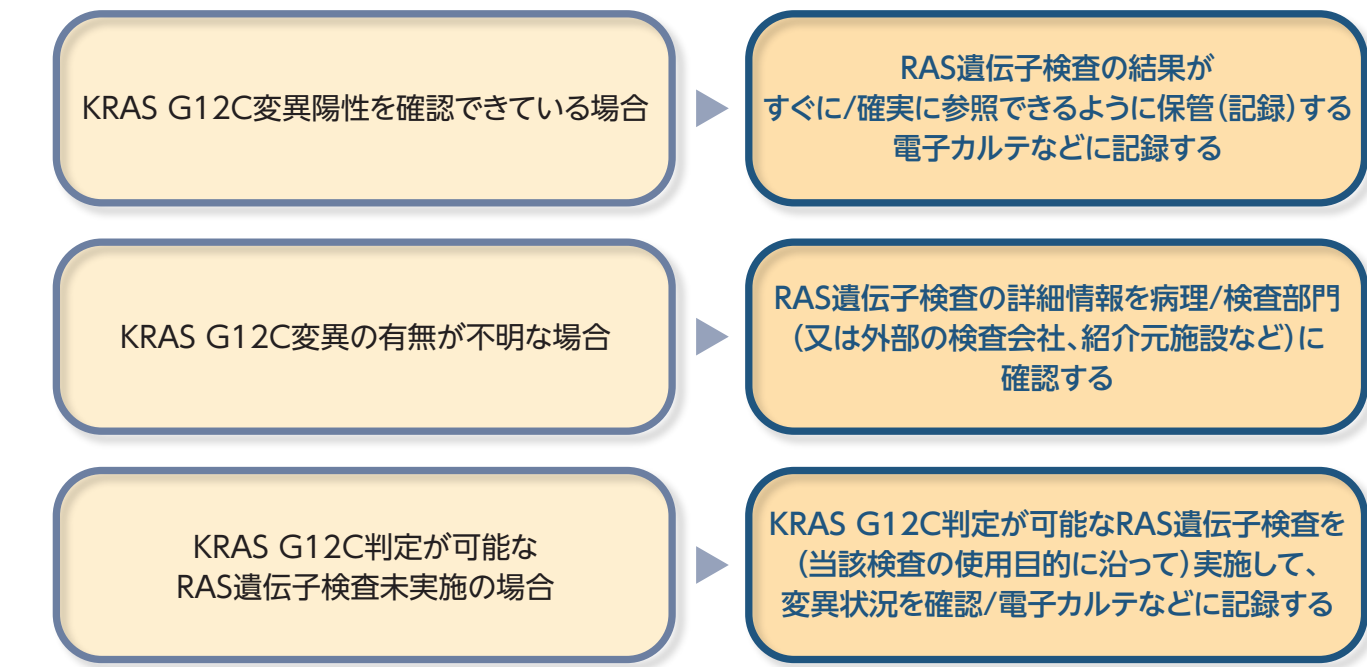
ルマケラスで治療を行う際のKRAS G12C変異の確認手順

— 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌の場合 —

- RAS/BRAF遺伝子変異解析の結果確認時には、KRAS G12C変異の有無をご確認ください。
- KRAS G12C変異陽性の場合、治療変更時に確実に確認できるよう、電子カルテへの記載をお願いいたします。



KRAS G12C変異記録状況別の手順



4. 効能又は効果(一部抜粋)
〇がん化学療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

6. 用法及び用量(一部抜粋)
〈がん化学療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉
パニツムマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはソトラシブとして960mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

MEBGEN RASKET™-B キット 大腸癌RAS・BRAF遺伝子変異解析

RAS遺伝子変異検査の使用目的(一部抜粋)※

1. 癌組織から抽出したゲノムDNA中のRAS(KRAS及びNRAS)遺伝子変異の検出(セツキシマブ(遺伝子組換え)又はパニツムマブ(遺伝子組換え)の結腸・直腸癌患者への適応判定の補助、大腸癌における化学療法の選択の補助)

「使用目的に関連する使用上の注意」(一部抜粋)

- ・ RAS遺伝子変異検査について、大腸癌における化学療法の選択の補助に用いる場合には、切除可能な結腸・直腸癌における術後補助化学療法の選択の補助に用いること。

※ MEBGEN RASKET™-B キット 電子化された添付文書 2024年5月改訂(第8版)

RAS/BRAF遺伝子変異解析では、RAS変異においては下記の通り24のサブタイプが同定でき、KRAS G12C変異も確認可能です。

KRAS					
Exon 2		Exon 3		Exon 4	
Codon 12	Codon 13	Codon 59	Codon 61	Codon 117	Codon 146
G12S	G13S	A59T	Q61K	K117N	A146T
G12C	G13C	A59G	Q61E		A146P
G12R	G13R		Q61L		A146V
G12D	G13D		Q61P		
G12V	G13V		Q61R		
G12A	G13A		Q61H		

MEBGEN RASKET™-B キットの報告書(サンプル)

検査結果報告書

p. 1 / 1

検体識別

ABC000000

0123-456

生年月日

19〇〇年〇月〇日

性別

男

試料

FFPE組織

採取日

20〇〇年〇月〇日

試験依頼者

株式会社 □□□

検査依頼者

〇〇病院

△△科

〇〇 〇〇先生

検査依頼日

受付番号

備考欄にKRAS G12Cなどの変異サブタイプ情報が記載されています

検査項目	結果	備考
試験名：RAS/BRAF遺伝子変異検査業務		
RAS遺伝子変異検査 (MEBGEN™ RASKET-B)	変異陽性 (+)	KRAS c.34G>T (p.G12C)
BRAF遺伝子変異検査 (MEBGEN™ RASKET-B)	変異陰性	
-以下余白-		

コメント：

特になし